

【問い合わせ先】

島根県病害虫防除所 [担当：松本・澤村]

TEL：0853-22-6772

FAX：0853-24-3342

## 令和7年度 病害虫発生予察情報 技術情報第1号

令和7年7月1日

島 根 県

### 水稲 斑点米カメムシ類（アカスジカスミカメ等）

#### の発生状況について

水稲斑点米の原因となるカメムシ類（アカスジカスミカメ等）の雑草地での発生が平年に比べて多くなっています。今後、水稲出穂にともない本田へ移動し、加害する恐れがあります。

現地では発生状況の把握に努めるとともに、適切な防除をお願いします。

#### 記

#### 1. 発生状況と今後の予想

- 1) 水田ほ場周辺雑草地（イネ科雑草）において、すくい取り調査を2025年6月23日～28日にかけて行った結果、斑点米カメムシ類の発生ほ場率は100%（平年70.3%）、平均捕獲虫数は27.7頭/20回振り（平年12.4頭/20回振り）（図1）となり、発生量は平年に比べて多い。
- 2) 主要種はアカスジカスミカメであった。特徴的な傾向として、カメムシ類の幼虫平均捕獲虫数が12.4頭/20回振り（平年0.77頭/20回振り）と多くなっていた（図2）。近年、水稲栽培において大きな問題となっているイネカメムシは、今回のほ場周辺雑草地におけるすくい取り調査では確認されなかった。
- 3) 6月第5半旬までの予察灯（出雲市）における斑点米カメムシ類（アカスジカスミカメおよびアカヒゲホソミドリカスミカメ）の合計誘殺数は59頭（平年47.8頭）と平年並みである。
- 4) 中国地方1か月予報（6月26日広島地方気象台発表）によると、気温は平年に比べて高くなる確率が80%と斑点米カメムシ類（アカスジカスミカメ等）の発生を抑制する要因とはならない。

#### 2 防除対策及び防除上の注意事項

- 1) 水田ほ場周辺の雑草地における斑点米カメムシ（アカスジカスミカメ等）の発生が多くなっていることから、適期に草刈りや除草剤散布などを行い、雑草（特にイネ科雑草）の管理を徹底する。
- 2) 今回の調査では確認されていないイネカメムシ等の個体数も、本田の出穂期が近づくにつれて増加すると考えられるため、ほ場の見回りをを行い適切な防除を行う。

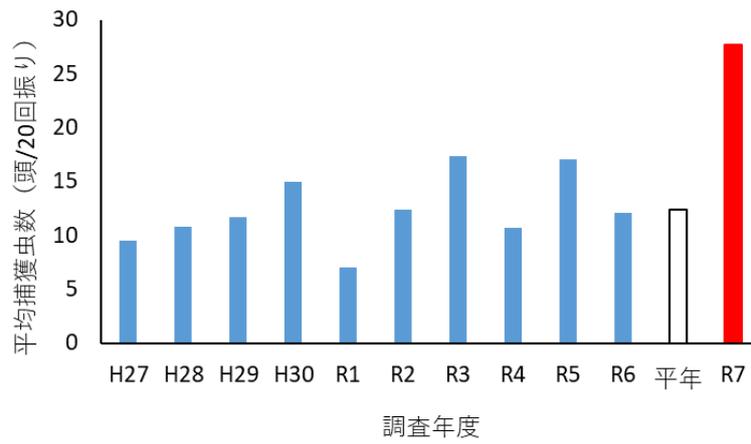


図1 斑点米カメムシ類（成幼虫）の平均捕獲虫数（水田 20 回振り 6 月下旬調査）

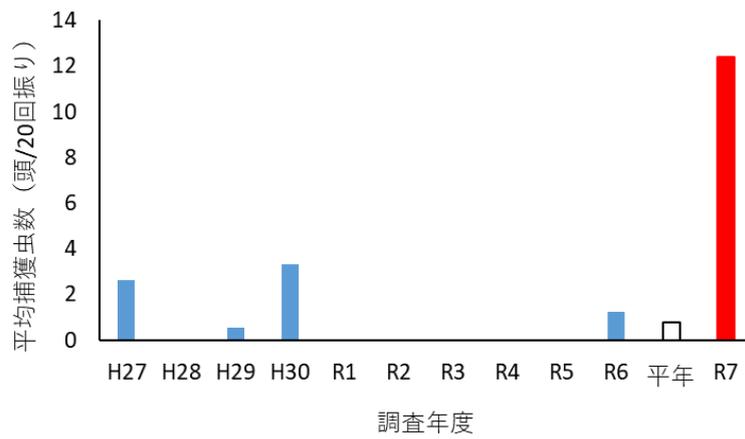


図2 斑点米カメムシ類（幼虫）の平均捕獲虫数（水田 20 回振り 6 月下旬調査）



図3 アカスジカスミカメ